※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術探究は芸術クリエイト系列の美術領域の科目で、美術演習と合わせて履修する。
・美術探究では、美術演習では実施しない油画や陶芸の技術を学びながら作品を制作することによって、生涯にわたり美術を楽しむ心情を養う。
・学習の到達度は、授業・作品への取り組む態度、提出物、作品の完成度で評価する。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

美術の授業を通して美術に関する基礎的・基本的な知識を身に着けながら、どう表現するか・どこまで作りこむかといった自己と向き合う力・判断力・表現力、また主体性を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・油画・陶芸領域の画材や道具を正しく扱う知識を身に着けている。 ・美術、工芸に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に着けている。	・自分の表現したいものをイメージし、作品で表現することができている。 ・主体的に形や色を判断・決定し、試行錯誤を繰り返しながら、よりよいものを作ろうと自分の作品と向き合うことができている。	・指導者の示す課題をよく理解するよう努めている。 ・作品制作に置いて自分の考えを持ち、計画的に制作に取り組んでいる。 ・自分の作品を完成させることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	油画1	・油絵の具の扱い方 ・モチーフを描いてみよう	a:道具を正しく使うことができる。 b:技法や技術を試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。 c:主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。	作品	作品	授業態度 アイデアスケッチ
前期期末	油画2	・独自のテーマ設定について ・制作	a: 道具を正しく使うことができる。 b:技法や技術を試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。 c:主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。	作品	作品	授業態度 アイデアスケッチ
後期中間	陶芸	・陶芸の基礎知識 ・陶芸に使う道具や薬品 ・手びねり ・たたら板づくり ・電動ろくろ	a: 道具を正しく使うことができる。 b:技法や技術を試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。 c:主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。	作品	作品	授業態度 アイデアスケッチ
後期期末	卒業自由課題	・独自のテーマを設定 ・スケジューリング ・必要な道具類の準備 ・制作	a: 道具を正しく使うことができる。 b:技法や技術を試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。 c:主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。	作品	作品	授業態度 アイデアスケッチ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度